

日本バウハウス協会
講演 (オンライン)
2024年4月29日(月)
18:00-19:30

原 研哉



HOUSE VISION

産業の未来と社会課題の交差点

HOUSE VISION は、「家」を多様な産業の交差点と考え、社会の課題と成長点を見出していく、展覧会と書籍によるプロジェクトです。2011年より建築家・クリエイター・研究者・企業・行政との対話を重ね、2013年、2016年に東京展、2018年に北京展、2022年に韓国展を開催し、家の構想を実寸で多数展覧してきました。

いずれの都市においても、その社会が直面する問題を家として捉えることで、住居を超えて、通信、エネルギー、移動、物流、医療、コミュニティ等の課題を具体的に捉えてきました。「新しい常識で家を作ろう」「離れてつながる、分かれてあつまる」「新重力」「農」が歴代のテーマです。

講師 原 研哉 (はら けんや) 氏

日常をとらえ直す視点や、潜在する問題を可視化していく姿勢からデザインを展開。活動を象徴する展覧会に「RE DESIGN- 日常の21世紀」(2000)、「HAPTIC- 五感の覚醒」(2004)、HOUSE VISION (2013~)、「新先史時代-100の動詞」(2017)等がある。無印良品や蔦屋書店のアートディレクションなど、明快な思想を背景としたデザインに定評がある。主著の『デザインのデザイン』(岩波書店)、『白』(中央公論新社)、『日本のデザイン』(岩波新書)は多言語に翻訳され世界に読者を持つ。毎日デザイン賞、東京ADCグランプリ、亀倉雄策賞、原弘賞、ポーランド/ヤン・レニツァ賞、香港/Design For Asia 生涯業績賞などの他、著書「デザインのデザイン」でサントリー学芸賞を受賞。

主催 日本バウハウス協会 (お問い合わせ)
<http://nipponbauhaus.jp>
講演は無料 (Zoom)

講演申し込みは2次元コードまたは下記 URL
https://zoom.us/webinar/register/WN_-tKLy0t8TuCAOFsxWsllyg

